

別子山公民館

令和3年8月号

愛媛県森林環境保全基金公募事業 “森の講演会” 開催

令和3年度を皮切りに取り組み始めました、愛媛県森林環境保全基金公募事業「別子山スローな森づくり事業」を提案し、手入れが行き届いていない別子山の広葉樹の森を対象にして、除間伐や植樹等の景観環境整備を行い、森の木々や小動物と人々が心豊かに触れあう空間の整備を行います。

別子山地区では、現在、スローライフが楽しめる「スローヴィレッジ別子山」構想の実現に取り組んでいますが、今回の事業はこの構想の中核となる環境整備であります。

複数年にわたる環境整備が完成すれば、都市農村交流の活動拠点の一つとなり、地域の持続的発展に大いに寄与するものと考えております。そんな事から、第1回目の事業活動として7月18日(日)午前10時からの講演会では、愛媛大学名誉教授・農学博士：江崎 次夫先生をお迎えし“森の働き（機能）を生かした地域の活性化”についてご講演いただきました。

森の多目的価値については、別子山の大自然：森林の存在が川の流量や水質を社会にとって良い様に変えてくれる働きが、水源かん養機能であることを説いていただき、別子山の景観は日本では6本の指に数えることが出来るほど素晴らしい景観であり、その景観の中には、IターンやUターンなどで、都市部や周辺から人を呼び込んで、素晴らしい景観を鑑賞しながら生活を満喫してもらおう。また林間学校や山林学校を開設して別子山が持つ特徴を最大限に活かすことが出来ると、森の持つ機能の活用法を教えてくださいました。

午後からは、「別子山の森の活かし方を皆さんと考える」話し合いを行い、これから先別子山の森を使って出来ることを皆さんで出し合いました。

積極的に森を使う事業として、婚活キャンプの実施や不便な環境を売物にした“森で遊ぼう体験”の実施等、別子山でしかできない体験活動の提案をいただきました。

この日は、午後から大粒の雨が降りしきる中でしたが、森について存分に語り合うことが出来「別子山のスローな森づくり」の第一弾を盛会に終えることが出来ました。

主催：別子山地域の未来を考える会



「森林環境保全基金公募事業」次年度以降活動計画

- 令和4年度
鳥や昆虫などが集まる森づくりを行う。具体的には、鳥や昆虫が好む樹木の植樹、鳥のための水場づくり、小鳥の巣箱づくりと設置、カタクリやフジバカマの花畑、カブトムシの養殖等を行う。
- 令和5年度
森の素晴らしさ、楽しさ、大切さ等が体験できるような「森の遊び場」づくりを行う。具体的には、林内のトレイル（遊歩道）の整備、沿道への花の植栽、さらには子供の遊びのための森のネット、ブランコ、樹上ハウス、ムササビ道などの整備を行う。
- 令和6年度
スローな森の情報発信を行うとともに、スローな森の各種の体験プログラムをつくり実施する。具体的には、ホームページの開設、施設や木々などの案内看板の作成、体験プログラムの作成と「森のようちえん・しょうがっこう」の開設を行う。
また、大人のための体験プログラムの作成と実施を行う。

県道：道路除草作業実施

日毎に暑さも増してきております。

今年は、特に梅雨の期間が長く続きましたので、道端の雑草も元気にすくすくと成長し道路の見通しを妨げるまでに成長しておりましたが、地域の皆様のご協力を頂き、除草清掃作業を実施することが出来、通行の安全と環境整備が図られ、快適に運転することが出来る様になりました。

地域の皆さんには、通行の安全にご配慮いただき本当にありがとうございました。



移動図書館『青い鳥号』運行のお知らせ

「青い鳥号」が別子山地区にやってきます。

みなさん是非ご利用ください。

8月は、19日(木)に巡回します。

別子小中学校 13:00~14:00

※本を借りる場合は、「図書館カード」が必要です。

※1人10冊まで借りる事ができます。

その他分からないことは、図書館員におたずねください。



新居浜市立別子銅山記念図書館
Tel 0897-32-1911

第9回 “地域おこし協力隊通信”

こんにちは！コウガミです。夏真っ盛りですね！私は別子山で3回目の夏を過ごしていますが、涼しい別子山の夏に慣れてしまっていたのでしょうか、今年の夏はとても暑く感じられます。でも、山を下りて街に行くと、やっぱり別子山は涼しいところなんだなぁと改めて思ったりします。

そうそう、ちょっと気になることがあるのですが、今年はスズメバチが普通よりも高い場所に巣を作っているのが見かけられると聞きました、よくクモは大雨が降っても流されない場所に網を張るといいますが、スズメバチもそうだとしたら今年は大雨や台風の被害が多くなると予測して高い場所に巣を作っているのでしょうか？激しい気象現象が起こらないようにと祈るばかりです。

まだまだ暑い日が続きますね、涼しい別子山とはいえ日中の暑さは厳しいです。皆様、水分をこまめに摂って熱中症を防ぎましょう！

余談ですが、先日畑周りの草刈りをしていて、汗がだんだん出なくなってきたのですが、別に気分が悪くなるわけでもなく気にせず作業していたら、景色が急に「白黒テレビ」のようになりました・・・、熱中症っておそろしいですね。

家具を固定し地震被害を防ぎましょう

巨大地震から命を守るための取り組みの一つとして、家具の転倒防止があり、新居浜市では高齢者などの世帯を対象に、**家具転倒防止等推進事業**を実施しています。

この事業では、家具の固定、ガラス飛散防止フィルムの施工に係る費用を市が負担しています。

安全な住まいづくりの第1歩として、是非ご活用ください。

対象世帯

市内に居住し、次のいずれかに該当する人のみの世帯とします。

- ① 65歳以上の人
- ② 介護保険法に基づく、要支援1~2、または要介護1~5のいずれかの認定を受けている人
- ③ 身体障害者手帳1級または2級を所持している人
- ④ 療育手帳を所持している人
- ⑤ 精神障害者保健福祉手帳を所持している人

内容

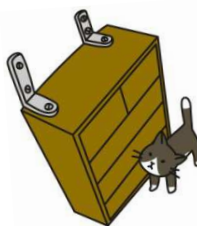
家具の固定及びガラス飛散防止に係るフィルム等の材料費は、各自ご負担していただきます。

市が負担する部分は1世帯につき、**家具固定3点・ガラス飛散防止フィルム4枚の施工に係る費用**となります。

申込

家具転倒防止等推進事業申請書に必要事項を記入し、危機管理課へ提出してください（郵送可）。

詳細は、危機管理課までお問い合わせください。



市民環境部 危機管理課

TEL0897-65-1282

FAX0897-33-5180

E-mail : kikikanri@city.niihama.lg.jp

おかしな話 ☺ 梅雨明けと同時に非常に暑い夏を迎えました。皆さんいかがお過ごしでしょうか？

さて、世間では東京オリンピックも開幕し、日本選手団も様々な競技で、次から次にメダルを獲得し、そのニュースを見ると非常に感動いたします。

最後まで頑張ってほしいものです。

さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がまだまだ止まりませんが、国内でもワクチン接種が徐々に広がりを見せております。ソーシャルデスタンスやマスクの着用はもう当たり前になり、新しい生活様式が確立されております。

皆さんも気を緩めることなく感染防止対策の徹底をよろしくお願いいたします。何より一日も早いウイルス収束を願うものでございます。

公民館でも、これから徐々に事業活動が始まろうとしておりますが、9月には校区の運動会が開催されます。実施方法はこれから行います、実行委員会などで決定いたしますが、感染拡大が落ち着き通常の大会が実施できる事を願うものです。

しかし、毎日暑い日が続いておりますが、ウイルスだけでなく熱中症にも気を付けて、屋外で作業等される場合は、水分補給を忘れず身体には十分注意をしてお過ごしください。